

生命（いのち）の安全教育【幼児期】 動画教材活用の手引き

動画の狙い

「生命（いのち）の安全教育」教材と指導の手引きの内容を踏まえ、日常の園生活の中で、教員等が効果的に「生命（いのち）の安全教育」の活動を行うことができ、かつ、子供たちの理解を深めることを目的として作成したものである。動画教材を活用して活動等を行う際は、事前に「生命（いのち）の安全教育」教材と指導の手引きを参照するなど準備した上で活動を行うこと。

動画教材の概要

幼児期向け動画教材は3つの場面に分かれており全体を通して動画を視聴させるほか、場面ごとに分けて視聴させることができる。

- **じぶんのからだ**⇒00:03～
- **じぶんだけのだいじなところ**⇒01:38～
- **いやなきもち**⇒05:45～

指導のポイント

● **じぶんのからだ**

- ・ 転んでけがをする場面から、からだを大切にすること考えさせる。
- ・ むいぐるみやおもちゃなどを示し、だいじなものを思い浮かべさせる。中でも自分のからだがとても大事であることに誘導する。
- ・ 自分のからだを大事にするためにできることが何か、考えさせる。

● **じぶんだけのだいじなところ**

- ・ プールの場面から、水着を着るのはなぜかを、お風呂の場面との違いで考えさせ、水着で隠れるところが自分だけの大事なところであるからということにつなげる。顔や口も大事であることを伝える。
- ・ 自分だけの大事なところは見せたり触らせたりしないことを、水着を着る理由とつなげて理解を促す。
- ・ 友達にびっくりさせられる場面（03:15）から人からされていやなこと、いやな気持ちを考えさせる。
- ・ いやな気持ちになったら「いやだ」「やめて」「だめ」とはっきり断っていいこと、その場から離れる・逃げることを、安心できる大人に話すことを伝える。

● **いやなきもち**

- ・ 数名で鬼ごっこをする場面などをもとに、日常の生活のどんな時にびっくりしたり、いやな気持ちになったりするかを考えさせる。
- ・ いきなり触られる、びっくりさせられる、ジロジロ見られるなど、いやな気持ちを思い浮かべさせる。
- ・ 前の水着の場面の繰り返しから、水着で隠れるところ、顔、口は誰にとっても自分だけの大事なところなので、触られたり見られたりするのはいやな気持ちになることをみんなを確認し、触られないように、触らないように、見せたり見られたりしないようにすることを伝える。
- ・ 自分がされていやなことは、人にもしない。いやなことは「いやだ」とはっきり言う。「いやだ」と言われたことはやめることを確認する。
- ・ まとめ（08:51～）として、
『じぶんのからだ』 自分の大事なからだを大切にしよう
『じぶんだけのだいじなところ』 はどこか
『いやなきもち』 になったらどうするか
を振り返り確認する。